

行動計画書イメージ

**上信越高原国立公園須坂地域**

**行動計画**

**(アクションプラン)**

**(案)**

平成 2 6 年 月

**須坂地域連携会議**

## 目 次

1. はじめに
2. 活動の経緯
3. 将来目標
4. 行動指針
5. 行動計画
6. 行動計画マップ

1. はじめに
2. 活動の経緯
3. 将来目標

#### 将来目標 1

**「地域住民が参加する公園（または地域）づくりをし、利用者も安心して楽しめる公園とする」**

須坂市の住民自身が国立公園の自然を地域の宝として意識できるようにするため、国立公園の管理運営に地域住民が参加します。そのうえで、公園来訪者にも安心して利用し、楽しめる国立公園とします。

#### 将来目標 2

**「動植物、景観、水源の森林を守り、次世代に引き継ぐ」**

高山植物や県の天然記念物にも指定されている高山蝶などが生息し、四阿山・根子岳の山岳景観、五味池破風高原の池、植物、そして米子大瀑布などの景観も来訪者を楽しませています。また、国立公園の森林は大切な水源地ともなっています。これらの自然環境を将来にわたって引き継ぐことを目指します。

#### 将来目標 3

**「国立公園の様々な情報を発信し、地域住民や利用者が、魅力ある国立公園であることを意識できるような公園を目指す」**

国立公園区域の位置情報をはじめ、自然環境や利用ルールを積極的に発信し、地域住民や利用者にとって魅力ある国立公園であることを実感できるようにします。

#### 4. 行動指針

##### **将来目標1「地域住民が参加する公園（または地域）づくりをし、利用者も安心して楽しめる公園とする」**

- 国立公園のある須坂地域として、周辺地域関係者や地域住民参加の公園づくりを進めます。
- 自分のいる位置が認識できるような区域の明示や標識を設置し、安心安全に、須坂地域の景観を楽しんで歩けるような整備を進めます。
- 須坂市の国立公園全体を見渡して様々な課題に対応できる基盤（組織）作りをします。

##### **将来目標2「動植物、景観、水源の森林を守り、次世代に引き継ぐ」**

- 高山植物の現状認識を深め、絶滅する恐れのある植物を保護してゆきます。
- 関係者（行政、地域住民、ボランティア）で、笹刈りや登山道整備を行なうことで、景観の保全を図ります。
- 範囲を決めて牛（羊）を放牧するなどの工夫をしながら、レンゲツツジの保全を図ります。
- 国立公園の自然環境や水源地としての大切さを実感するために、須坂市全域の小学生とその保護者が現地でのボランティア活動に参加できるようにします。
- 四阿山系として考え、群馬県側や上田市側とも連携して保全活動を進めます。
- 鳥獣被害を及ぼす動物の実態把握に努め、改善するための対策を検討します。
- 不法投棄防止に向けた対策を検討します。
- 国立公園内の保護啓発や管理にあたる人材を育成します。

##### **将来目標3「国立公園の様々な情報を発信し、地域住民や利用者が、魅力ある国立公園であることを意識できるような公園を目指す」**

- 国立公園であることが分かりやすい表示や看板を設置し、利用者が上信越高原国立公園に来たことを実感できるようにします。
- 国立公園についての情報を地域（関係者間）で共有し、知識の向上を図り、それらを様々な情報媒体を活用して発信します。
- 関係者が気づいた国立公園内の最新情報を、1箇所に集約し関係者に発信できる仕組みを作ります。
- 地域の四季を通じた風景、動植物、観光情報などを、利用者に向けてわかりやすく発信します。
- 利用ルールやマナーについて関係者で共通認識を持ち、それを利用者へも伝え意識の向上を図ります。

## 5. 行動計画

### 将来目標1「地域住民が参加する公園（または地域）づくりをし、利用者が安心して楽しめる公園とする」

主体	協力体制	活動内容	活動期間				
			H26	H27	H28	H29	H30

### 将来目標2「動植物、景観、水源の森林を守り、次世代に引き継ぐ」

主体	協力体制	活動内容	活動期間				
			H26	H27	H28	H29	H30

### 将来目標3「国立公園の様々な情報を発信し、地域住民や利用者が、魅力ある国立公園であることを意識できるような公園を目指す」

主体	協力体制	活動内容	活動期間				
			H26	H27	H28	H29	H30

# 行動計画マップ

